

■ 議題

今回の番組審議委員会は、4月27日（月）午前9時より『ヒッツ・モーニング・エア』内で放送したコーナー「ALT（外国語指導助手）による中学生向け英語学習番組^{※1}」と、6月1日（月）午後2時より『ヒッツ・ヴォイス・オブ・ザ・コンパス』内で放送したコーナー「一緒に考えよう事業承継^{※2}」（ナビゲーター 亀山陽子）を聴いて審議に入った。

※1 「ALTによる中学生向け英語学習番組」

コーナー内容： 高山市教育委員会が「新型コロナウイルス感染拡大」に伴う臨時休校により、自宅学習が続く子どもたちの為に、ALT（外国語指導助手）による中学生向けの番組を、教科書を基に制作し、中学1年生向けは午前9時より、2年生向けは午後1時30分より、3年生向けは午後4時30分より、4月27日から5月6日までの期間放送。（教科書の著作権関係により、この期間だけの放送。）

※2 「一緒に考えよう事業承継」

コーナー内容： 60歳以上の中小・小規模事業者の経営者、父親が60才を超えた次世代経営者、事業承継を検討中の経営者をターゲットに「事業承継の相談先がない」、「事業承継の必要性を認識していない」「何から手をつけていいか分からない」ということが無いように、相談窓口が身近に複数存在する事業承継相談の事例を伝え、相談した事業者の声を届ける専門家が事業承継課題を整理し、解決策を一緒に検討するなど「事業承継」とはどのようなことなのかを理解してもらう。毎週月曜日午後2時より放送。

■ 審議内容

会社側： 審議に入る前に、前回の番組審議委員会での意見に対しての回答、報告、今後の放送予定、聴取した番組の補足などを説明した。

原委員長代理： 今回聴取した「英語学習番組」は新型コロナウイルスの影響で、学校が休みのため、急遽始まったわけだが、この番組は高山市教育委員会からの依頼なのか？

会社側： そうだ。市教委より相談があったため、制作し、放送した。

原委員長代理：新型コロナウイルスの影響が無ければ、この番組は無かったことになるが、今後どのようにしていくのか考えていかなければいけない。また、2つ目の「事業承継」については、私が商店街で事業を営んでいるためか、集中して聴いた。実際問題として「廃業」するところが今後、増えてくると思う。今回の新型コロナウイルスの影響も含めて、忌憚のない意見をお願いしたい。

田中委員：「英語学習番組」については、新型コロナウイルスの影響で学校が臨時休校になって始まった番組ということで、臨時休校の状況下でも学習力を高めるには良い企画だと思うが、事前に生徒には告知していたのか？

会社側：高山市教育委員会から各学校にメールを配信して知らせた。その後、学校から保護者に放送時間や内容について知らせて頂けたと思う。授業で使用している教科書を用意してもらい、中学1年生は午前9時から、2年生は午後1時30分から、3年生は午後4時30分から期間中放送した。また、午後7時以降に再放送した。

田中委員：登場人物が多かったので、教科書が無いと分かりにくいのかなと思ったが、教科書があるという前提なら良いと思う。今回は教科書の著作権の関係でこの期間だけとなっているが、ラジオが「学習のツール」として使ってもらえるようになれば、この企画は良いと思うし、教科書ではない学習ツール（教材）をALTに作ってもらい、ヒッツFMのホームページからダウンロードして、放送を聴きながら学習することができれば良いと思った。

「事業承継」については、大切な事だということは伝わったが、今回、聴取した内容は全体的な概要の説明だったので、今後、話の展開があるとは思いますが、具体例を出してもらえると分かりやすいと思った。例えば、後を引き継ぐ人がいないという相談を受けて、アドバイスをしたらこのような結果になったというような事例を出してもらえると、聴いている方もイメージしやすいし、事業承継に直接関わっていない方に対しても、身近な問題として聴いてもらえるのではないかと思った。

高嶋委員：「英語学習番組」について、今回は英語を放送で取り上げていたが、今後、他の教科を放送する予定はあるのか？

会社側：今回は「英語を取り上げてもらえないか」という相談だったので、英語のみとなった。今後も、新型コロナウイルスの影響で学校が休校になる可能性もあるので、他の教科についても教育委員会と相談していきたいと思う。

高島委員：新型コロナウイルスの影響で、しばらくの間休校となり、夏休みが短縮されると思うが、この期間でもラジオを使って学習できると良いと思う。

会社側：教科書の著作権について、教育委員会の先生に何回か確認してもらったが、やはり「この期間だけしか利用できない」ということだった。弊社としては5月いっぱい放送したいと思っていたが、次第にも書いてある通り「著作権の権利」という部分で、高山市のみならず、全国的にこの期間しか使用できないことになっていて、あまり取り上げることができなかつた。もう少し使用できる期間が伸びていれば、他の教科も取り上げていたかもしれない。

高島委員：「事業承継」については、先ほどの意見にもあったが、具体的な事例があればイメージしやすいと思った。

会社側：「事業承継」については、1回目の放送だったので、大まかな内容の紹介のみとなった。今月8月分の放送については、バンドスカレー様（高山市の本格インドカレー店）にゲスト主演して頂き、どのような流れで引き継いだのかなど、実際に事業を引き継いだ話をしている。また9月分の収録が来週あるが、実際に事業承継された方に主演して頂く予定だ。

原委員長代理：これから順番に具体的な話が出てくるということか？

会社側：そうだ。しかし、このコーナーの契約が半年なので、今年の11月頃までで終了となる。

松川委員：「英語学習番組」については、他の委員と同じで、コロナ禍の中、良い企画だと思った。ただ、コンセプトが、英語を楽しむための放送なのか、教科書を使った本当の授業のような放送をしたいのか、分かりにくかった。本当の授業のようにしたいのであれば、BGMは無いほうが良いと思った。BGMが無いほうが集中して聴けるのではないかと思った。仮にBGMが小さくても、集中できない気がした。また、4月から新しく中学1年生になった生徒に向けての番組だとすると、「スピードラーニング」ではないが、英語の後に和訳を入れるなどしないと、新1年生には意味が分からないと思う。

「事業承継」についても、他の委員と同じで、第1回目の放送の大まかな内容よりも、2回目、3回目以降に放送した具体的な内容を聴取したいと思った。

松川委員：また、第1回目の放送でも、概要を少し説明した後、「今回はこのような悩みの相談を受けています」など具体的な内容を紹介して、「次回の放送では、こちらの内容について説明します」と放送予告をすれば「2回目以降も聴いてみたいな」となるかもしれない。漠然と聴いただけでは、人によってはよく分からないので、次の回は聴いてもらえないかもしれない。つかみとして、少し具体例を入れると、次に繋がるのではないかと思った。

大平委員：先ほどの報告にもあったが、「新型コロナウイルス・災害」については、高山市長のメッセージ等、急な依頼にも関わらず、様々なメッセージを発信して頂き、感謝している。（大平委員は、高山市職員）
「英語学習番組」については、「ALT（外国語指導助手）」という言葉はほとんどの方が知らないと思うし、番組の中で「ALT」についての説明も無かったので、説明があると良かった。また、ALTの方は何回収録をしたのか？1回で収録が終わったのか？

会社側：1回で終わった。放送日までの間で収録スケジュールが合わなかったため、1回だけで収録を終えた。4時間位かけて、1年生から3年生の分を全て収録した。

大平委員：普段、学校で授業を行うスピードで話したのか？

会社側：そうだ。

大平委員：上手く話していると思う。

会社側：ALTの先生達が、あらかじめ練習をしてきてくれたため、スムーズに収録に入ることができた。

大平委員：とても聴きやすいと思った。

「事業承継」については、「事業承継」という言葉を知っている方は、スムーズに話に入っていけると思うが「事業承継って、どのような漢字を書くのだろう」と思ってしまうと、前に進まないくらい難しい内容だと思う。「事業承継」についての簡単な説明や、言葉を言い換えて言うなど最初に紹介してもらえると、知らない方でも話に入りやすいのかなと思った。『一緒に考えませんか、事業承継』というコーナー名だと、知らない方は名前が躓いてしまうので、もう少し分かりやすいコーナー名にすれば良いのかなとも感じた。

大平委員：先ほど他の委員の意見にもあったが「現状がこうだから、課題があって、この課題に対してこうしよう」など、コーナーの流れ（ストーリー）があると、分かりやすいのかなと思った。出演者の方々にとっては、状況や説明中に出てくる言葉も分かっている構成されている感じがしたので、分からない方に対しても分かりやすい構成にしてみようと思いきや、聞きやすいと思った。また全体的に「事業承継」という言葉がたくさん出てくるので、どこかで言葉の整理があると良かったのではないかなと思った。

林委員：「英語学習番組」について、私は肯定的な感情を抱いた。私自身が中学生の頃、NHK ラジオの英会話の番組を聴いて英語が好きになったので、子どもにとっても親にとってもこの企画は非常にありがたく貴重な番組だと感じた。しゃべっている方は地元出身の ALT の人なのか？

会社側：地元出身ではない。アメリカなどから来ている外国人で、現在、高山に住んでいる方々だ。

林委員：このような方々がしゃべってくれるのは、やはり貴重なことだと思う。今回は期間限定だったので、もっと放送して欲しいと思った。教科書を持っている前提であり、現在は小学生の頃から英語に触れていると思うので、ラジオから英語が耳に入ってくることは成長にもつながり、また、オンライン学習に比べると劣る部分があるかもしれないが、聴くことは基本的な学習方法だと思うので、これはこれで学習能力が高まるのではないかなと感じた。

「事業承継」については、正直、私は興味を抱かないし、身近に事業承継を感じている方が、ごく一部のような気がする。そこで、他の委員と同じ意見になるが、コーナーの概要は良く分かったので「次回の放送はこのような方の具体的な事例を紹介します」といった告知を番組の最後にすれば、リスナーも次回聴いてみたいという気持ちになるのではないかなと思う。

石原委員：「英語学習番組」については、大変良い企画だと思う。自分の学生の時を振りかえっても、実際、英語をネイティブの方がどのように読むのか非常に興味を持つところだと思うので、今回のコロナ禍の中で、良いきっかけになったと思う。番組的には、限られた時間で収録していることで、手作り感が若干あるような気がしたが、初の試みとしては良いと思った。聴取した内容の放送日が 4 月 27 日分となっているが、1 回のみ放送なのか？それとも何回かに分けて放送したのか？

会社側：分けて放送した。今回聴いていただいたものは、その中の 1 日分だ。

石原委員：放送の度、自己紹介が入っているが要らない気がした。それを除くと良い企画だと思う。英語テキストの音声版を、もしかしたら別で売っているような気がするので、教科書の「サブテキスト」的なものとして同じような企画をすれば良いと思う。

「事業承継」については、私も直接、事業承継に関わることは無いが、聴いていて最初の説明があまり入ってこないと感じた。コーディネーターがいろいろ説明していたが、プロのしゃべり手では無いし、文章が長かったので頭の中に入り辛かった。できれば、ナビゲーター（女性）1人とプロのしゃべり手が1人、そして専門家の3人で番組を進めてもらえると、素人にも頭に入りやすいのかなと思った。また、BGMが少し大きいと思った。

原委員長代理：「英語学習番組」について、企画やシナリオ等はヒッツ FM が関わったのか？それとも高山市教育委員会かすべて行ったのか？

会社側：教育委員会と ALT が話し合っただけだと思う。ヒッツ FM は、事前収録と放送日時を決めたので、企画には関わっていない。

原委員長代理：では、今回の審議委員会の委員の意見は、直接、教育委員会にもっていかないと、今後の番組作りに繁栄できないということか？

会社側：そうだ。

原委員長代理：地元で活動している ALT は、実はあまり知られていないと思う。半年から1年位の期間、ALT として活動して国へ帰っていくの繰り返しなので、子ども達は知っていても、地域の人（大人）にはあまり知られていないと思う。せつかく ALT として高山に来たのなら、地域の人と関わりが持てるような番組を作るとか、番組の中で関わりをもったシーンを少し紹介できると ALT についてもっと知ってもらえたり、子ども達だけでなく大人も興味をもって聴いてもらえらると思った。

「事業承継」については、難しい内容が多いと思うし、今、自分がこうしてしゃべっているテンポでも速いと感じているので、難しい言葉や内容はゆっくりと話した方が良いと思った。ラジオで聴いているだけでは理解し辛いと感じる。これは原稿通りに進めているのか？

会社側：そうだ。

原委員長代理：原稿通りも良いが、もう少し、やりとりしている感じを出した方が理解しやすいと思う。文章も長いので内容を簡単にして分かりやすくゆっくりと紹介できると良いと思う。

会社側：収録前に出演する方には「ゆっくり紹介して下さい」と一声かけるのだが、緊張もあり、だんだんと早口になる。プロではないので、「もう1回録音させて下さい」（録り直し）とは言い辛いので、OK テイクにしてしまう。

原委員長代理：そこを何とかできないのか？「歯医者による番組」も原稿通りに番組を進めていると思うが、早口になってしまい、話している内容が理解し辛いことが多い。確かに難しいことなので、これからも同じ展開になると思うが、やはり早口だと聴いている内容が飛んでしまうことが多いので何とかして欲しいと思う。

ALT の話に戻るが、ALT の外国人、観光で来る外国人や日本人、単身赴任などで高山に来る方など、他所から高山に来たり、住んだりしている方が多いので、その方々とのトーク番組などはできないのか？例えば「高山の良さを語ってもらうような番組」などができると面白いと思う。

会社側：それと関連しているか分からないが、東京都出身で高山市上宝在住の弁護士の先生による番組を、現在、週1回放送している。先週の放送では、もう1人、地元以外出演者を増やして「高山市でも特に奥飛騨（住んでいる地域）をどうしたらよいか」という内容で、地元（高山）以外の方の考えや意見を伺った。つまり「そのような番組を増やしたら良いのではないか」という意見なのか？

原委員長代理：そうだ。確かに高山市は広いので地域によっても違うし、業種もいろいろあり、また年齢層も違うが、このような番組があると違った視点で高山について語ってくれるので、地元の方も耳を傾けてくれるのではないかと思う。また、今年は新型コロナウイルスのことだけではなく、災害、特に7月の大雨に関することも多かったが、そのことについて意見はないか？

会社側：災害については、「昨日から国道41号（下呂市小坂地区）が通行止めから片側交互通行になり通行できるようになったが、時間帯によっては渋滞する可能性があるのでご理解下さい」といった内容の呼びかけもしている。（国土交通省 中部地方整備局 高山国道工事事務所と協定を結んでいる為、情報が入ってくる）

原委員長代理：その辺りの情報が1日に何回も流れているのを聞いた。分かりやすかったと思う。

会社側：災害に関しても、その都度、情報を頂き放送している。また高山国道工事事務所のみならず、他の道路の管轄でもある高山土木事務所からも情報を頂き放送している。当然、高山市からも情報を頂いている。

「英語学習番組」については、別の番組だが『ワンポイント英会話』（毎週火曜日から木曜日放送）というコーナーがあり、観光案内所に勤めているイタリア出身の男性、ジュリオさんと、高山市の海外戦略室の方に主演して頂いて、「使える英会話」をコンセプトに放送している。以前は、海外戦略室の方が1人で出演して放送していたが、今は2人で放送している。

原委員長代理：2人でやりとりしながらやっているのです、今のほうが分かりやすいと思う。

会社側：改善は必要だが、少しずつ工夫しながら放送している。

原委員長代理：この番組はこれからも続くのか？また、番組告知はしているのか？

会社側：番組は続くが、番組告知はしていない。

原委員長代理：この番組は面白いと思うし、これからも放送するなら告知した方が良いと思う。

会社側：貴重な意見を頂き感謝している。番組向上に繋げていきたいと思う。

■審議機関の答申又は、意見の概要を公表した場合における公表内容、方法年月日

令和2年8月18日（火）

番組審議委員会の席上で説明

■その他の参考事項

次回開催日 令和2年10月下旬

開催場所 飛騨地域地場産業振興センター（予定）